要 望 書

福島県知事 佐藤雄平 様

福島県浜地域農業再生研究センター（仮称）
の設置について

平成25年5月10日

南相馬市長 桜井勝延

東日本大震災と東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故から2年あまりが経過し、当市では、警戒区域、計画的避難区域が解除されたものの、依然として避難指示の継続する区域があり、農業の担い手の流出や農地の荒廃が進んでおります。さらに、この区域では、多くの農作物で出荷及び摂取が制限されている現状から、営農再開への見通しが全く立っておりません。

また、福島第一原子力発電所から20キロメートル以遠の区域においても、土壌や農産物に含まれる放射性物質に対する不安感は払拭されておらず、また、農産物の価格低迷が続いていることなどにより、農業者の生産意欲は失われつつあります。

本県の基幹産業である農業再生の道筋を示しながら、農業者の生産意欲を取り戻すためには、原発被害がもっとも大きい浜通り地域に農業研究と情報発信のための拠点整備が必要不可欠でありますので、その設置について、次のとおり要望いたします。

- 一 当市に浜地域農業再生研究センター（仮称）を早期に設置すること。
- 二 浜地域農業再生研究センター（仮称）の整備予算の確保について、国へ強く働きかけること。